

次のとおり令和8年度市民活動支援センター第1回運営委員会の報告を致します。

会議名		令和8年度 第1回 調布市市民活動支援センター運営委員会							
開催日時		令和8年4月18日(土) 午前10時~12時							
会場		市民活動支援センター 活動スペースはばたき							
出席者	委員名		安藤雄太	○	村上むつ子	○	平澤和哉		増田健治
		○	水田征吾	○	大槻昌美	○	石井洋子		児山宣孝
		○	浜本雅樹		石正房江	○	毛利勝		ニフア・ジャンマンナ
		○	小松明日香		松永佳子	○	吉田真也	○	櫻木裕久
		○	田島誠						
	事務局	○	北島正也						
司会		事務局/運営委員長		記録		事務局			

社会福祉法人社会福祉協議会市民活動支援センター運営要綱(以下、要綱)第10条第10項「運営委員会は委員の過半数の出席により成立し、議事は、出席委員の過半数で決する。」の規定に基づき、11人の出席により運営委員会は成立していることを確認した。

会議概要

令和8年度の第1回市民活動支援センター運営委員会が開催された。

本会議では、新年度の運営方針、運営委員会の役割、および中長期運営方針の策定に向けた今後の進め方等について確認が行われた。

主要な議題として、2月末開催の「えんがわフェスタ2026」及び3月開催の「市民活動支援センター20周年記念えんがわミーティング」の振り返りを行い、参加した各委員から多様な視点での評価と今後の改善提案が共有された。

また、令和7年度の事業報告案の承認手順や、えんがわファンド選考委員会の体制についても協議が行われ、原案どおり承認された。

1 委嘱状交付・1分間近況報告(各委員)

櫻木裕久委員に委嘱状が交付された。

2 令和8年度市民活動支援センター運営委員会について

令和8年度の運営方針と計画

- 委員会の役割と権限の再確認:

市民活動支援センター運営要綱に基づき、センターの事業計画、予算、設備利用等に関する運営委員会の5つの権限を再確認した。多様な市民ニーズに応えるため、様々な知見や経験を有する市民の皆さんに運営委員として参画いただき、自立した市民社会の創造に向けて、各委員の考えやアイデアを出しあいながらセンター運営を進めることを確認した。

また、年7回の運営委員会の中で、都合により委員の出席が難しいときもことから、事務局から前回の会議の概要を欠席の方々に共有していくとともに、当日欠席の運営委員

も前回の会議の様子を事務局に確認するなど、これまでの議論を運営委員全体で共通理解を図りながら議論を進めていくことを確認した。

－ 中長期運営方針の策定：

今年度が現在の中長期方針の4年目にあたるため、次期方針の策定に向けた議論を今年度から開始することが確認された。年7回の運営委員会に加えて、別途議論の場を設ける可能性がある旨を伝えた。

【承認事項】

3 令和7年度事業報告(案)、資金収支決算報告(案)の承認手順について

- ・5/8 (金)～5/11 (月) 消費税額確定
- ・5/13 (水) 事業報告(案)、資金収支決算報告(案)の運営委員への送付、意見の受付
- ・5/15 (金) 第2回運営委員会
- ・5/21 (木) 決算監査
- ・6/4 (木) 理事会
- ・6/19 (金) 評議員会

【協議事項】

4 市民交流事業「えんがわフェスタ 2026」振り返り

5 20周年記念企画「えんがわミーティング～温故知新～」振り返り

参加者全員で、先日開催された2つの記念事業について振り返りを行った。動画で当日の様子を再確認した後、各委員が感想や意見を共有した。

意見・感想

〈委員〉団体間の新たな繋がりが生まれ、名刺交換や協働のきっかけとなった点が非常に良かった。

〈委員〉センターの20年の歴史や、立ち上げ時の苦勞を知る貴重な機会となった。

〈委員〉20周年企画では、普段会えない過去の運営委員や関係者と交流できたことが有意義だった。

〈委員〉えんがわフェスタ 2026 について、一般市民の参加が少なく、関係者中心の内向きなイベントになった側面がある。

〈委員〉えんがわフェスタ 2026 について、広報チラシの文字が多く、一目で魅力が伝わりにくい印象を受けた。キャッチコピーなどの工夫が必要。

〈委員〉参加メンバーが固定化しがちであるとの懸念があると過去の運営委員からも指摘された。

今後の市民交流事業への提案

〈委員〉若者世代の参加促進：高校生ボランティアクラブの設立や、大学との連携プロジェクト、えんがわファンドの「若者枠」設置など、具体的な施策を検討してはどうか。

- 〈委員〉既存プログラムとの連携：センターが実施している「サマーボランティア（夏ボラ）」と連携し、参加した若者をイベントに誘導する仕組みを構築する。
- 〈委員〉アウトリーチ活動の強化：センター内で待つだけでなく、地域へ出向いてイベントを開催し、新たな層にアプローチすることも重要だと考える。
- 〈委員〉継続的な関係構築：を行うため、20周年イベントで繋がった過去の委員や関係者との関係を維持するため、メーリングリストを作成し、継続的に情報共有や交流を図る。

6 令和8年度市民活動助成事業えんがわファンド選考委員(案)について

〈事務局〉選考委員の決定：令和8年度えんがわファンド選考委員として、運営委員長を含む6名が選出され了承が得られた。

今後のスケジュールについては、現在、助成を希望する団体向けの事業説明会が開催中である。6月6日(土)に公開プレゼンテーションが予定されている。

ふくしの窓5月号に公開プレゼンテーション開催の記事が掲載予定の旨を報告し、運営委員の参加も呼び掛けた。

【報告事項】

7 市民活動支援センター運営報告

(1) 令和7年度地域人材養成講座

2月に開催した「チラシ作り講座」において、対象者を明確に広報しなかったために参加希望者から苦情が寄せられた。広報の際の対象者を明記するとともに、参加申込があった際に、申込者のことをよく調べ、コミュニケーションを図りながら丁寧に対応していく。また、申込者が送信したメールの見落としというミスも生じたことから、今後の再発防止に向け専用メールアドレスの活用や受信トレイの管理方法の見直しといった事故防止策を講じる。

(2) 市民活動支援センター利用者アンケート調査

QRコードの活用などにより、昨年度を大幅に上回る288件の回答を得た。利用者は10代・20代の若年層と70代以上の高齢層が多く、40代・50代が少ない傾向が見られる。運営委員から、市の人口構成と比較分析することで、より深い洞察が得られる可能性があるとの意見が出された。

(3) 令和8年度市民活動助成事業えんがわファンドの進捗状況

4/18(土)に第1回説明会を実施し、9団体が参加したことを報告。

今年度は事前の説明会において、東京ボランティア・市民活動センター専門員を講師に招き、助成金の考え方を学ぶミニ講座も併せて実施している。

(4) 令和8年度市民活動支援センターサービス受付時間変更（令和8年4月1日～）

ボランティア保険の申込や募金や会費の受付時間について、職員が確実に在席する「月～土は17時まで」「日・祝は16時まで」に変更していることを報告した。

(5) 令和8年度職員体制

職員体制：国領のスタッフに変更はないが、小島町コーナーのボランティアコーディネーターが1名3月末に退職し、後任を募集中の状況を報告した。

(6) 令和8年度市民活動支援センター運営委員会の開催日程等

令和7年度の事業報告案および資金収支決算報告案を5月13日までにメールで各委員に送付し、次回の委員会で承認を得る。

(7) その他

センターの理念や活動内容を外部へより分かりやすく発信するため、今年度ウェブサイトのリニューアルを計画している。委員からもデザインやコンテンツに関する意見を募りながら、進めていく方針で検討を行う。

8 次回の会議予定

次回開催日時：5月15日（金）19:00～21:00

場所：市民活動支援センター